



2006年のテクノプラザPCステーション

1月のアドバイザー研修会(1月28日)



2018年のテクノプラザPCステーション

新金貨物線三重田街道踏切付近(1月21日)

- 2面・来年度の協働・受託事業について
 - ・ユニコムかつしか 今むかし
- 3面・かつしかの風景と歴史4
 - ・貨物線と三菱製紙中川工場
 - ・12月のアドバイザー研修会
「Windows7 迫るサポート終了」
「ドローンシミュレータ」など
 - ・1月のアドバイザー研修会
「今さら聞けない『AI』」
「キャッシュレス決済」
- 4面・お知らせ
 - ・編集後記

パソコン教室ピックアップ(葛飾みんなの協働サイト <https://kyoudou.city.katsushika.lg.jp/>にも案内があります)

■1月〜3月講座の募集
「パワフルかつしか12月25日号」に掲載
就職・起業・企業実務支援の講習会です
ワード・エクセル・パワーポイント講習が充実
他にイラストレーターやPhotoshop作成講座など
開催日程は下記の教室サイトからも参照可
■4月からの講座
「パワフルかつしか3月25日号」に掲載
4月中旬にパソコンステーションの設備を更新し
ます

テクノプラザかつしか
パソコン講習会
テクノプラザかつしかパソコンステーション
<http://tpkpcs.net>

■3月講座募集中
「広報かつしか2月5日号2面」に掲載
講座日程は下記の教室サイトから参照可
■3名までの少人数クラスでゆっくり学習!
年齢55歳以上の方が受講できる教室です
・初心者のためのワード入門ほか
・スマホ(アンドロイド)で電話・メール・ネット
検索など、スマホ講座が特に人気

シニアのための
ゆっくり・じっくり
IT講座
<http://uc-k.net/spc/>

■3月講座募集中
「広報かつしか2月5日号10面」に掲載
・スクラッチプログラミング(成人対象)
・エクセルアートで小物作り
・図形を使って花を描こうほか
詳細日程は下記の教室サイトから参照可
■4月から定期講習会場が次のようになります
・たつみ憩い交流館(西新小岩2-1-4)
・ユニコムかつしか立石教室(立石3-30-18)
右のほか、科学教育センター未来わくわく館
等の施設を不定期講習会場として利用します
■5月コースから講習内容を一新します

パソコンで広がるあなたの世界
暮らしを彩る
パソコン教室
<http://uc-k.net/kpc/>

来年度の協働・受託事業について

例年のことながら、年度末が近づくにつれ何かと気ぜわしい日が続きます。主事業の各パソコン教室においても、協働先や業務委託元との新年度事業の検討や調整準備などが必要となるためです。具体的な業務契約などはこれからですが、これまでの折衝状況による来年度の主な協働・受託事業の話題を以下に記します。

暮らしを彩るパソコン教室

講習会場は、小菅憩い交流館の利用が終了し、東京理科大構内にある葛飾区科学教育センター「未来わくわく館」や他の公共施設をスポット的に利用する。たつみ憩い交流館とユニコムかつしか立石教室の両会場はこれまでと同じ。

入門コースとして無料の「楽しくパソコン体験」を3月から開始、他のコースは5月から大幅にリニューアルする。内容は、4日間コースを2日間にして受講しやすくする、1回2時間のワンテーマ学習を増やす、子どもや大人向けのビジュアルプログラミング学習を充実させるなど。

シニアのためのゆっくり・じっくりIT講座

会場のたつみ憩い交流館の設備がリソースの更改時期を迎えるため、PC兼タブレット機を想定していたが、現状のPC設備を継続利用することとなった。

今年度のこの教室で最も受講者数が多いコースが「初めてのパソコン」。パソコンにも相応の需要があるというところかもしれない。人生経験豊富、パソコン経験不足のシニアにとっては、どんなパソコン学習のカリキュラムが適切なのか…そんな検討も欠かせないだろう。

テクノプラザかつしかパソコン講習会

早いもので業務を受託して5年経った。こちらは設備を一新することになり、機種選定もほぼ終えた。この講習会ではイラストレータ等の講習も行っているが、現状設備では動作にかなり時間を要しているため、更改に際

して最上位のCPUの導入を検討。しかし、なぜか品薄ということで入手できず、ハードディスクをSSDに替えることで対処した。4月中旬に設備の入れ替えを行い、同月下旬から、OSウィンドウズ10、オフィスソフト2019の環境下での講習となる。

障害者パソコン講習会

協働事業として始まったのが平成20年、すでに10年を超える事業となった。障害者手帳をお持ちの方を対象とした教室で、ウエルピアかつしかが会場。障害の種類や程度が異なるため受講者一人に講師が一人つく形式で行っている。来年度も今年度と同様に身体障害、高次脳機能障害、視覚障害、知的障害の各コースを開催する。

なお、区の所管課から推薦をいただき、葛飾協働街づくりに貢献した団体の一つとして表彰されることになった。(4面記事参照)

えみふるPCサロン

「えみふる」は千代田区立障害者福祉センターの愛称。その施設運営を委託されている社会福祉法人武蔵野会から依頼を受け、月2回ユニコムかつしかの講師2名が訪問、通所される方々のパソコン操作の相談などに対応している。来年度は、フェイスブック、ツイッターなどのSNS講座も予定している。

ユニコムかつしか 今むかし

本誌創刊は2006年、今年で13年目を迎える。その間、様々な記事を掲載してきたが、誌面の都合上、書けなかったことも多々あった。そんなこぼれ話を「ユニコムかつしか今むかし」と題して何回か書いてみたい。

初回はテクノプラザかつしかの2階にあるパソコンステーションにまつわる話から。ここは、ユニコムかつしか前身団体の葛飾ITクラブの時代から、会員の研修やシニア情報生活アドバイザーの養成講座に利用していた。

そんな縁もあってステーションの運営責任者(仮にXさんと書く)にはいろいろと便宜を図っていたとき、時に葛飾のIT普及について語り合ったりもした。

それから数年経った春のある日、テクノプラザかつしかの指定管理者に応募するという企業の方から電話を受けた。「地元のNPOと組んでパソコンステーションの定期講習会をやりたい、それをコンペ提案のアップील要素の一つにしたい、受けてもらえないか」。ユニコムかつしかの事業を拡大するには願ってもない話と思いついたものの、内心葛藤があったのも事実。というのは、指定管理者が変わるとなると、お付き合いのあったXさんから仕事を奪うことになるから。

新しい指定管理者が決まって間もなくXさんに会いに行った。不機嫌がスーツを着ていて、「ITのノウハウなんか無い会社なのに、ここの講習会はどうするつもりなんだ」とお怒り。「実はうちが」と切り出すと、「あなたのところがやってくれるなら安心したわ」と言ってもらえて、冷や汗が安堵の汗に。

「設備はどうするの?」そのひと言で思いついて、「講習会を地元NPOでやるんなら、設備も地元業者から入れてもらえないか、頼んでみます」

「それはいいね、そうしなさいよ」というわけで、新しい指定管理者の責任者と交渉。何とか理解してもらって、懇意にしていた地元のS社さんから納入してもらった。

それから早くも5年経った今、S社さんからの2度目の設備納入も間近になった。

このデジタル社会、ITの知識やスキルも必要だけれど、最も大切なものはやはり「人間関係」だろう。それはかなりアナログ的で、論理よりフィージングであるというのも皮肉なことだが。

かつしかの風景と歴史4

貨物線と三菱製紙中川工場

新小岩と金町を南北に結ぶJR新金線（総武本線金町支線）は、近頃貨物輸送の重要性が増し、時にお座敷列車を走らせるなど話題になる事が多くなった。走行中の車両を見かけることはすくないが、「実は、JR貨物の加島工業団地へ、JR東日本越中島レールセンターから、JR東日本管内のレール輸送の要」（武井義明「葛飾レイルマガジンVol.1」発行にあたり）だという。

「水戸街道を通ると、中川大橋から金町のほうへ少し行ったところに踏切がある。これは貨物線の踏切で、一般の旅客をのせる列車は通らない。線路は総武線新小岩の操車場から、金町の三菱製紙中川工場まで敷設されていて、今は主として金町駅の常磐線と新小岩駅の総武線のあいだの、貨物の輸送や列車の入れ換えなどに使われている。…かつては三菱製紙の中川工場は紙専用の特殊な紙を作るので政府から特別な待遇を受けていた。その一つとして深川の木場あたりから製紙用の木材を中川工場へはこぶために、三菱製紙の専用線としてこの線路が敷かれたのである。…戦争中に、千葉県の佐倉や市川などから兵隊を輸送するために、軍の命令で国鉄が貨物線として利用した。それが先例になって戦後、国鉄の貨物線になり、三菱製紙も利用するというあべこべ



新金線、三重田街道踏切から南方へ 2019年1月21日撮影

敷かれたのである。…戦争中に、千葉県の佐倉や市川などから兵隊を輸送するために、軍の命令で国鉄が貨物線として利用した。それが先例になって戦後、国鉄の貨物線になり、三菱製紙も利用するというあべこべ



『葛飾百景』（1985年11月刊）より

の形式になった。…（『葛飾百景』佐藤義勝版画・加太こうじ文）。葛飾区では、「葛飾区公共交通網構築に関する調査検討委員会」を設置し、新金貨物線の旅客化について検討している（ホームページ）ということだが、国道との平面交差の解消

などコスト面でのハードルは高そうだ。

大正6年に操業開始、葛飾の近代工業を牽引した三菱製紙中川工場は、この地域の工場群の中心として金町駅の西北方に君臨していた。広大な敷地内には貨物の専用線さえ敷かれていたが、平成15年に終業、跡地を都市基盤整備公団（現・都市再生機構）に売却した。その後、地中埋設物の土壌処理工事に要する費用について損害賠償請求訴訟となったが、25年に和解した。現在は、い



三菱製紙中川工場跡地、マンション建設現場から理科大キャンパス方面を望む（2019年1月21日撮影）

じゆくみらい公園、東京理科大学葛飾キャンパスを中心に、いなげやなどの商業施設や住友不動産のシティタワー金町建設などの大規模再開発が進められており、かつての面影は跡形もなくなりつつある。

12月のアドバイザー研修会

「Windows7 迫るサポート終了」

「パソコンシミュレーター」など

12月のアドバイザー研修会はユニコムかつしかの立石事務所で24日（月）に佐々木講師により開催された。プログラムは、「Windows7 迫るサポート終了」「パソコンシミュレーター」の2項目。

1月のアドバイザー研修会

「今から聞けない『AI』」

「キャッシュレス決済」

1月のアドバイザー研修会はユニコムかつしかの立石事務所で28日（月）に佐々木講師により開催された。プログラムは、「今から聞けない『AI』」「キャッシュレス決済」の2項目。高度な内容だっただけに参加者は少数にとどまったが、AIについては、機械学習、深層学習、ディープラーニングといった用語の定義から開発の歴史的な経緯を含めて豊富な視覚的資料を駆使して最新の情報を分かりやすく解説された。キャッシュレス決済については、カード決済



1月のアドバイザー研修会（1月28日）

は、カード決済、スマホ決済、電子マネーの3種類があること、日本でキャッシュレス決済が進まない理由など、様々な角度から説明された。

お知らせ

平成30年度葛飾協働街づくり表彰を受けます

葛飾区との協働により地域の発展に貢献した団体の一つとしてユニコムかつしかが表彰を受けることになりました。表彰式は3月27日、ウイメンズパルにて行われます。

パソコン指導ボランティアをしてみませんか！

ユニコムかつしかでは、パソコンやスマホやタブレットなど、IT機器の操作指導を行う会員を募集中です。あなたの経験やスキルを活かして一緒に地域活動をしてみませんか。お問い合わせはユニコムかつしか(03-6905-8080)まで。



コピーサービスなどのご案内

- ★ユニコムかつしかの立石事務所では、次のようなサービスを行っています。どなたでも利用できます。
- ・コピーサービスは、カラー A4⇨30円、A3⇨50円、白黒 A4⇨5円、A3⇨10円。
- ・ラミネート加工サービスは、A3⇨160円、A4⇨80円、B4⇨120円、B5⇨60円、はがき⇨40円、健康保険証⇨40円、名刺⇨40円です。
- ・スキャン・サービスは、A4サイズ以下の、ハガキ、名刺、写真などが対象で、料金はサイズに関係なく1面20円です。

***営業は月・水・金曜日の9時から5時となります。**

IT機器の学習なら

NPO法人ユニコムかつしかへ事業案内

- 【公共施設パソコン教室事業】
暮らしを彩るパソコン教室
- 生涯学習を目的とする葛飾区との協働事業
- シニアのためのゆつくり・じつくりIT講座
- 55歳以上のシニアが対象の区委託事業、パソコン・スマホについて無料の何でも相談を月2回開催
- 障害者パソコン講習会
- 障害者手帳をお持ちの方が対象の区委託事業
- テクノプラザかつしかパソコン講習会
- 主に就業・起業向けを目的とする指定管理企業からの受託事業、毎週金曜日午後は受講者の無料フォロー相談等を実施、最終金曜日は誰でも利用可
- 千代田区障害者福祉センターえみふるPCサロン
- 主に通所者を対象とするPCサロンで、(社協武蔵野会からの受託事業)

【ユニコムかつしか独自事業】

- ユニコムかつしかパソコン教室
 - ご希望のテーマや時間による個人または少人数グループのためのレッスンやサポート。ご自宅への訪問レッスン・サポートも行っています。教室全員になると料金割引の特典があります。
 - シニア情報生活アドバイザー養成講座
 - 日商PC検定試験
 - ベーシック・2級のネット検定試験が受けられます
- そのほか、団体・商店などのWeb、会報、チラシなどの制作支援も行っていますので、お気軽にご相談ください。

●ユニコムかつしかへのお問合せは左記まで

Tel 03-6905-8080 FAX 03-6657-6185
E-mail info@uc-knet

●立石事務所の営業日は

月・水・金曜日の9時から5時となります。
火・木・土・日曜日はパソコン教室の開催日です。

●本機関誌「ユニコム通信」は左記ウェブサイトでも閲覧できます。(PDF形式)

NPO法人ユニコムかつしかホームページ

<https://www.uc80.com/>

左側のナビゲーションウィンドウの「ユニコム通信2018」から全バックナンバーを閲覧できます。

編集後記

ついこの間、年が明けたと思ったら、はや2月半ば過ぎ。ゆく年の流れは絶えずして、しかももとの歳にはあらず。昨春のひと月入院のあと、めつきり体力が落ち、ずいぶんどジイサンになった。

今年秋にはいよいよ後期高齢者だ。後期のあとは末期か。エンディングノートの作り方など、講座のテーマにしたら、という声も聞こえてくるが、まだ表現はしていない。

自身の終活はふとした気まぐれから40代始めに準備方端整えた。無計画のわたしが若気の至り？で自分の墓を作り、献体の手続きを行い、リビングウィルを書いた。延命措置不要葬儀・香典無用等々。今のところ幸か不幸か何の役にも立っていないが、講座のテキスト作りの参考にはなるかも。(暇)